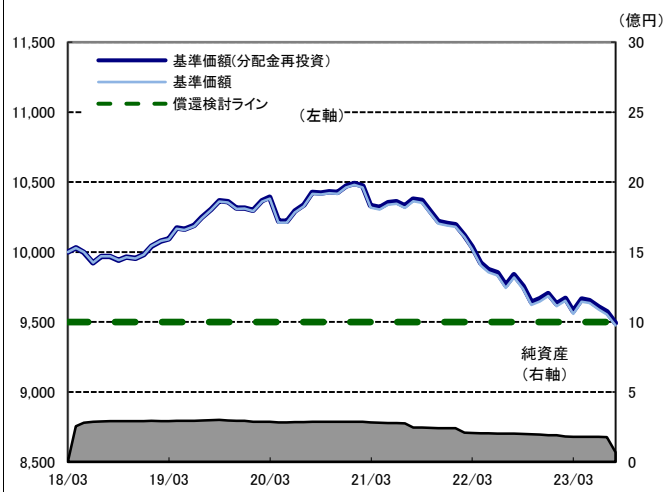




運用実績

2023年7月31日 現在

運用実績の推移 (設定日前日=10,000として指数化:月次)



上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※	9,475 円
現在の運用	安定運用
翌月の運用	安定運用

※分配金控除後

4つのライン

償還検討ライン	9,500円
保守型運用切替ライン	10,000円
積極型運用切替ライン	10,500円
ステップアップライン	11,000円

各ラインの詳細については「ファンドの特色」をご覧ください。

騰落率

期間	ファンド
1か月	-0.8%
3か月	-1.7%
6か月	-1.8%
1年	-3.5%
3年	-9.0%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来	-5.1%
設定来=2018年3月2日以降	

- 信託設定日 2018年3月2日
- 信託期間 2028年2月10日まで
- 決算日 原則、2月10日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

純資産総額 0.7 億円

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2023年2月	0 円
2022年2月	5 円
2021年2月	5 円
2020年2月	5 円
2019年2月	5 円

資産内容

2023年7月31日 現在

国・地域別配分

国・地域	純資産比
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
その他の資産	100.0%
合計(※)	100.0%

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。
 ※先物の建玉がある場合は合計欄を表示していません。
 ・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

実質外貨比率

実質外貨比率	-
--------	---

・実質外貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

格付別配分

格付	純資産比
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
その他の資産	100.0%
合計	100.0%

・格付はS&P社、ムーディーズ社、フィッチ社、R&I社、あるいはJCR社のいずれかの格付機関の高い方の格付によります。
 ・格付は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ポートフォリオ特性値

平均格付	-
平均直利	-
平均最終利回り	-
平均デュレーション	-

・上記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等(現金等を含む)の各特性値(直利、最終利回り、デュレーション)を、その組入比率で加重平均したものと、現地通貨建、また、格付の場合は、現金等を除く債券部分について、ランク毎に数値化したものを加重平均しています。
 ・デュレーション: 金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。
 ・平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

組入上位10銘柄

2023年7月31日 現在

銘柄	通貨	純資産比
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
合計	-	-

組入銘柄数: -

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

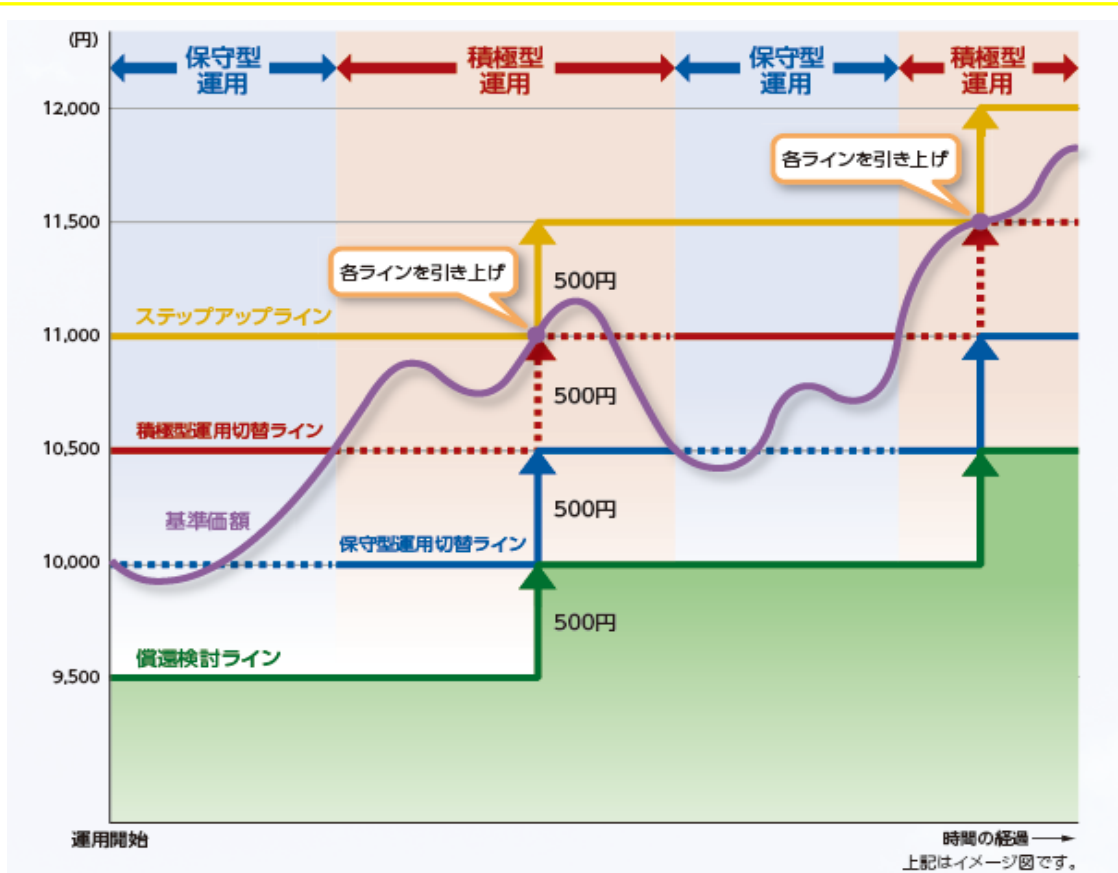
この報告書は、ファンドの運用状況をお伝えすることを目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。当ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



「4つのライン」のステップアップのイメージ(設定時)



● ファンドの設定時における各ライン(基準価額)の水準

償還検討ライン	9,500円
保守型運用切替ライン	10,000円
積極型運用切替ライン	10,500円
ステップアップライン	11,000円

● ファンドの基準価額がステップアップラインに到達した場合には、「4つのライン」の水準をそれぞれ500円引き上げます。*

※各月末時点において、ファンドの基準価額がステップアップラインに到達した場合には、その翌営業日から「4つのライン」の引き上げを行いません。
当面は、ステップアップライン到達時の各ラインの引き上げ幅は500円としますが、基準価額水準によっては、各ラインの引き上げ幅を見直す場合があります。

※上記はあくまでもイメージ図であり、ファンドの運用実績ではありません。

ファンドにおける償還検討ラインは、あくまでも安定運用に切り替えるための価額水準であり、ファンドの基準価額および償還価額がその水準を下回らないことを示唆あるいは、保証するものではありません。安定運用への切り替えが完了するまでの債券の価格変動の影響等により、基準価額および償還価額が償還検討ラインを下回る場合があります。

この報告書は、ファンドの運用状況をお伝えすることを目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。当ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



先月の投資環境

債券市場<債券利回りは米・独・日で上昇>

- ◆**米国:** 6月のCPI(消費者物価指数)の前年比伸び率が市場予想を下回ったものの、景気の底堅さが各種の経済指標から確認されたことで、債券利回りは上昇(価格は下落)しました。
- ◆**欧州:** 7月のユーロ圏製造業PMI(購買担当者景気指数)が市場予想を下回るなどユーロ圏域内では景気減速が続いたものの、米国の債券利回り上昇につれて、独債券利回りは上昇しました。
- ◆**日本:** 日銀がイールドカーブ・コントロール(長短金利操作)政策の基本的な枠組みを維持しつつも、10年国債利回りの許容変動幅を実質的に拡大し、同政策の運営を柔軟化したことなどから、債券利回りは上昇しました。

為替市場<円に対して米ドル・ユーロは下落>

7月下旬の金融政策決定会合に向けて、日銀の緩和的な金融政策からの転換に対する市場の警戒感が高まる中で、米ドルやユーロは円に対して下落(円高)しました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○ パフォーマンス <月間の基準価額の騰落率は、0.82%の下落となりました。>

米国やユーロ圏で債券利回りが上昇したことがマイナスに影響し、基準価額は下落しました。

○ 運用経過

保守型運用の下で「世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド」の組み入れを通じて世界各国の公社債に投資をしていましたが、月中に、ファンドの基準価額が償還検討ラインに到達したことに伴い、主として流動性の確保を図ることを目的とした安定運用に切り替えました。

今後の運用方針

(2023年7月31日現在)

○ 当ファンドは、8月7日に信託の終了日(繰上償還日)を迎えます。

これまでのご愛顧、誠にありがとうございました。なお、マンスリーレポートは今月をもちまして最終となります。

この報告書は、ファンドの運用状況をお伝えすることを目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。当ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



ファンドの特色

- 日本を含む世界各国の公社債を実質的な主要投資対象*とし、信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。
※「実質的な主要投資対象」とは、「グローバル債券マザーファンド」、「世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 「グローバル債券マザーファンド」または「世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド」を高位に組み入れることで、日本を含む世界各国の公社債に投資することを基本とします。
- 実質組入外貨建資産については、邦貨建資産の額と外貨建資産のうち為替ヘッジ(他通貨による代替ヘッジを含みます。)を行なった資産の額との合計額(実質的な邦貨建資産の額)が、原則として信託財産の純資産総額の90%±10%程度となるよう、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減をはかることを基本とします。
- ファンドは、原則として保守型運用切替ラインおよび積極型運用切替ラインと、基準価額(1万口当たり。支払済みの分配金累計額は加算しません。)の関係に応じて、相対的に保守的な運用を行なう「世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド」と、相対的に積極的な運用を行なう「グローバル債券マザーファンド」の間で運用の切り替えを行いません。
◆ 当ファンドは、以下の4つのラインを設けています。

ライン	到達時の方針	設定時のライン (基準価額)
償還検討ライン	ファンドの基準価額が当ラインに到達した場合には、ファンドは安定運用に移行します。	9,500円
保守型運用切替ライン	積極型運用 ^{※1} を行なっている際にファンドの基準価額が当ラインに到達した場合には、保守型運用 ^{※2} に移行します。	10,000円
積極型運用切替ライン	保守型運用 ^{※2} を行なっている際にファンドの基準価額が当ラインに到達した場合には、積極型運用 ^{※1} に移行します。	10,500円
ステップアップライン	ファンドの基準価額が当ラインに到達した場合には、4つのラインの引き上げを行いません。	11,000円

※1 積極型運用とは、「グローバル債券マザーファンド」に主に投資することを指します。

※2 保守型運用とは、「世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド」に主に投資することを指します。

* 当面は、ステップアップライン到達時の各ラインの引き上げ幅は500円とします。基準価額水準によっては、各ラインの引き上げ幅を見直す場合があります。

- 設定当初は「世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド」に投資を行いません。
- 「世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド」への投資を行なっている際に、各月末の基準価額が積極型運用切替ラインに到達した日(「積極型運用切替判断日」という場合があります。)の翌営業日以降、原則として「グローバル債券マザーファンド」に投資先の切り替えを行いません。
※積極型運用切替ライン、ステップアップラインに到達したかの判定は月次で行いません。
※基準価額が大幅に上昇した際にはステップアップライン到達時の各ラインの引き上げ幅を見直す場合があります。
- 「グローバル債券マザーファンド」への投資を行なっている際に、各月末の基準価額が保守型運用切替ラインに到達した日(「保守型運用切替判断日」という場合があります。)の翌営業日以降、原則として「世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド」に投資先の切り替えを行いません。
※保守型運用切替ラインに到達したかの判定は月次で行いません。
- ファンドの基準価額が、償還検討ラインに到達した場合には、円建ての短期公社債等に投資を行ない、主として流動性の確保を図ることを目的とした安定運用に切り替えることを基本とします。
※償還検討ラインに到達したかの判定は日次で行いません。
※償還検討ライン到達以降の基準価額は償還検討ラインを下回る場合があります。
- 各月末時点において、ファンドの基準価額がステップアップラインに到達した場合には、その翌営業日から償還検討ライン、保守型運用切替ライン、積極型運用切替ライン、ステップアップラインの引き上げを行いません。
- ファンドは「グローバル債券マザーファンド」、「世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 原則、毎年2月10日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。
分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。
* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては上記のような運用ができない場合があります。

この報告書は、ファンドの運用状況をお伝えすることを目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。当ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様にも帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

◆ 設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



投資リスク

ファンドは、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2028年2月10日まで(2018年3月2日設定)
- 決算日および収益分配 年1回の決算時(原則2月10日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 当該投資信託のお申込期間は終了しました。
- ご購入単位 当該投資信託のお申込期間は終了しました。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	当該投資信託のお申込期間は終了しました。
◆運用管理費用(信託報酬)	<p>ファンドの純資産総額に年1.353%(税抜年1.23%)を上限とする率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。</p> <p>■主として保守型運用を行なう期間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初設定日以降、「積極型運用切替判断日」から起算して5営業日目の前日まで ・「保守型運用切替判断日」から起算して5営業日目以降、「積極型運用切替判断日」から起算して5営業日目の前日まで <p>ファンドの純資産総額に年0.473%(税抜年0.43%)の率を乗じて得た額</p> <p>■主として積極型運用を行なう期間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「積極型運用切替判断日」から起算して5営業日目以降、「保守型運用切替判断日」から起算して5営業日目の前日まで <p>ファンドの純資産総額に年1.353%(税抜年1.23%)の率を乗じて得た額</p>
◆その他の費用・手数料	<p>組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。</p> <p>※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。</p>
◆信託財産留保額(ご換金時)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に依りて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

＜分配金に関する留意点＞

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかさった場合も同様です。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社
 ☆サポートダイヤル☆ 0120-753104 (フリーダイヤル)
 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時
 ☆インターネットホームページ☆ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社> **野村アセットマネジメント株式会社**
 [ファンドの運用の指図を行なう者]
 <受託会社> **野村信託銀行株式会社**
 [ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

この報告書は、ファンドの運用状況をお伝えすることを目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。当ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド(運用切り替え機能付・限定追加型)

愛称:未来への階段

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第15号	○			

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。